学校番号	1006

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新政治・経済　新訂版」（清水書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「政治分野」では、日本国憲法、国会・内閣・裁判所そして選挙制度を中心に学習し、「経済分野」では、市場経済のメカニズム、金融政策、財政政策そして社会保障について学習します。
　大学入試および公務員試験に必須の内容を中心に学習していきます。
生徒のみなさんにとって、少し難しい内容だと思いますが、一つひとつしっかりと復習するようにしてください。

2　学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心をたかめるとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けさせる。	社会と人間にかかわる事柄から課題を見出し、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としてのあり方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度・発問評価・提出課題・定期考査	左に同じ	左に同じ	左に同じ

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	民主政治	・民主政治の本質を把握する	○	○		○	a:基本的人権の理解 b:憲法の原理への理解 c: d:身近な政治問題の理解	・授業態度・発問評価・提出課題・定期考査
1	政治機構	・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心をたかめる。	○	○	○	○	a:国会などへの関心 b:政治機構全体の把握 c:新聞・ネットでの資料収集 d:国会などへの理解	上に同じ
2	国際政治	・国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差があることを理解する。	○	○	○	○	a:国際政治と国内政治の相違 b:国際感覚への考察 c:ネット最新情報の把握 d:国家間格差の理解	上に同じ
2	現代経済	・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代経済の特質について理解する。	○	○	○	○	a:各経済への理解 b:経済とは何かについての考察 c:社会主義経済の実態 d:２１世紀の経済	上に同じ
3	国際経済	・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。	○	○	○	○	a:為替相場のメカニズムの理解 b:グローバリゼーションを考える c:各国の通貨の把握 d:ヒト、カネ、モノの移動を考える	上に同じ

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。